

令和元年度第2回福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1 日 時 令和元年12月11日(水) 午後2時～午後2時50分

2 場 所 大阪府庁新別館南館5階 マッセOSAKA 第4研修室

3 研究会メンバー ○大阪府市長会を代表する者

羽曳野市 保健福祉部保険健康室長
岸和田市 欠 席 (担当課長が代理出席)
泉大津市 欠 席 (担当課長が代理出席)
大阪市 福祉局保険年金担当部長
摂津市 保健福祉部理事
大東市 欠 席 (担当課長が代理出席)
貝塚市 福祉部長

○大阪府町村長会を代表する者

豊能町 生活福祉部長
忠岡町 健康福祉部長
河南町 欠 席 (担当課長が代理出席)

○大阪府

福祉部 障がい福祉室長
障がい福祉室障がい福祉企画課欠席 (担当課総括補佐が代理出席)
障がい福祉室地域生活支援課長
障がい福祉室地域生活支援課参事
子ども室子育て支援課欠席 (担当課総括補佐が代理出席)

4 議事概要

(1) 福祉医療費助成制度に関する研究会報告書(案)について

事務局から、WGにおける議論を反映した資料に沿って福祉医療費助成制度に関する研究会報告書(案)を説明し、本日の研究会での意見・指摘等を踏まえて修正し、最終的に座長に一任して報告書を決定することとした。

(2) 上記(1)に係る委員からの発言要旨

- ・期間を限定せずに精神病床の入院へ助成することについて異論はない。
- ・精神障がい者保健福祉手帳1級の患者の平均在院日数等の詳細なデータは把握できているか。
- ・精神病床の入院への助成の実施時期については、経過措置後切れ目なく助成するため、事務手続も踏まえた最短のスケジュールとして、令和3年4月から行うべきである。
- ・住所地特例に関して、大阪府市長会・町村長会で「国民健康保険の考え方と統一するように」という要望をしているので、国民健康保険と同じ考え方で整理するのが望ましい。
- ・精神障がい者の地域移行施策に関して、福祉医療施策との両輪で進めていくということで、市町村を主体としながら、大阪府からも引き続き協力をお願いしたい。
- ・制度変更にかかる対象施設等への周知は、大阪府からもやっていただけという理解でよいか。
- ・制度変更に際して、医療機関や府民への周知に必要なリーフレット等は準備してもらえるか。
- ・本日の研究会での意見・指摘等を踏まえて、最終的には座長に一任して報告書を決定して良いか(異議なし)。

以 上